

コンサートレポート

素敵なお客様 •••••••••••••• 牛久シニアアンサンブル（ドルチェ）発足記念コンサート

昨年の11月26日第4土曜日に、牛久SE。賛助出演、つくばSEということで発足記念コンサートが開催されました。そんなに広くないロビーにお客様がぎっしりとお並びになり、数分早めに開場せざる得ませんでした。253席と発足記念コンサートには丁度良いと思っていた会場が、あれよあれよ云う間に満席です。その後もお客様がいらっしゃり、お気の毒と思いながらも20人から30人の方々を入場をお断り致す状態でした。牛久SEの最初の曲は「青い山脈」で軽快に演奏が始まり、2曲目から4曲目まで地元の団友、バリトンの声の持ち主、遠西幸男様のボーカル。5曲目、「浜辺の歌」、6曲目「知床旅情」を会場の皆様方と合唱と、中盤の盛り上がりをみせ。最後の曲「ユーモレスク」まで安定した演奏を致しました。菅新先生が「心配していません。」とおっしゃった通り10曲、難なく演奏をされました。第2部、つくばSEの演奏では1曲目の「ビリーブ」から始まり、最後の7曲目の「愛のあいさつ」まで素晴らしい演奏です。アンコールの「一晩中踊り明かそう」は牛久SEより4年先輩の貫禄を見せて頂きました。

今回のコンサートで、私が印象に残りましたのは牛久SE、つくばSEともPRの時からお客様に「聴かせる」という態度ではなく、「聴いて頂く」と云う真摯な気持ちがお客様に通じてたのかなと思います。お客様もそれにこたえて下さり、1部が終わった時点で聴けないでロビーでお待ちになつていらっしゃる方のことを思いやり、あえて、お席を譲るためロビーに出られモニターで、ご覧になられた方も何人かいらっしゃいました。

素敵なお客様の方々。心、暖まるコンサートだったと思います。

取手 宮崎 正



涙を誘われ感動 •••••••••••••• 足立シニアアンサンブル定期演奏会

1. 10月22日（土）西新井「ギャラクシティ」に団員9名でお伺いしました。今回のプログラム構成は第一部で同楽団の指揮者編曲者であった故笛森先生を偲び先生編曲の4曲が演奏されました。第二部は「音楽の玉手箱」と題しタンゴ・ポップス等8曲（うち2曲は会場での唱和曲）が披露されました。

2. 全体的な感想は以下のとおりです。

(1) 演奏はバランスの取れた美しいアンサンブルで特定のパートの音が目立ち過ぎず、聴いている側には心地良いハーモニーを楽しめました。特に金管（トランペット）2本の音色が大き過ぎずうまく生かされていました。これは印象に残ります。

(2) 各パート演奏者の聴かせどころが随所にあり「演奏していて楽しかったのでは？」と感じました。実際終演後のロビーで、ある団員に「聴かせましたね！」と声を掛けたら、ご当人は目を輝かせ、とても嬉しそうでした。

3. 一部～二部を通じ先生編曲の名曲の数々が演奏され、故人もさぞ天国で喜ばれていることでしょう。聴いている我々も思わず涙を誘われ感動しました。私共アンサンブルポニーかつしかも4月15日（土）かつしかシンフォニーヒルズにて定期演奏会を開催しますが、出来ればご来場の方々に感動を与えるステージにしたいと楽しく準備しています。

レポート：アンサンブルポニーかつしか代表 上原成介